

5 JAC RECYCLE JOURNAL

2020.05. May

株式会社ジェーエーシー

① 東京2020主催 プラスチック空き容器からつくる！ 「みんなの表彰台プロジェクト」

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京2020組織委員会）は、P&G社の協力の下、国民の協力で集められたプラスチック空き容器と海洋プラスチックをリサイクルし、東京2020大会の表彰台を製作するとのこと。国民が参加して使用済プラスチックを回収し、表彰台を作製するプロジェクトは、オリンピック・パラリンピック史上、今回の東京大会が初めてとなるそうです。美しい地球環境を次世代につないでいくため、『みんなの表彰台プロジェクト』に参加してはいかがでしょうか！



詳しくは → recycletogether.jp

🗨️ 輸送コンテナを再利用した環境に優しく幾何学的な Starbucks 新店舗の外観 & 店内とは！



台湾の東海岸沿いに位置する花蓮に「Starbucks (スターバックス)」の新店舗がオープンした。設計は『Starbucks Reserve Roastery Tokyo』や「Starbucks」の太宰府天満宮表参道店を手がけた日本を代表する建築家、隈研吾が担当。上の写真のとおり、同店舗には高い耐久性を誇り、建築業界で注目を集めているリサイクル輸送コンテナ29個で構成され、「Starbucks」が注力する環境面に配慮したサステナビリティを体現している。立地的要素を汲み取り、ストアにはドライブスルー機能が備わっているが、その一方で320㎡のシッティング・エリアを用意。このデザインについて、隈氏は伝統的な中国の建築様式とコーヒーの木の葉がインスピレーションソースになったと語っており、コンテナの向かいにある壁画では台湾の原住民アミ族に敬意を表している。

そんな隈研吾が自身の建築キャリアで初めてコンテナを使用して設計した花蓮店のデザインは、上の写真。

あわせて、すでに“世界で最も美しいスタバ”との呼び声も高い「Starbucks」のイタリア1号店の外観&店内の様子もチェックしてみたいはかが？

www.hypebeast.com より引用



編集部だよ！

最近、よく業務の一端で山梨県の富士吉田市に行っております。なかなか宮城県民の私としては踏み込まない地域場所であるため、みるもの食べ物新鮮で、最近仕事しながら楽しんでおります。吉田のうどんって知ってますか？なかなかクセのつええ〜たべもんですわアレ！おかげで行くたびに毎回食べ歩いてます。どの店にもあるという七味のすごい辛いヤツ、あれはかなり手ごわいッ、それより何より富士山のパワーはやはりナンバーワンです。

✓スマイルサポーターの活動報告



3月中旬、弊社の社員え、タツフで構成する「スマイルサポーター」により、SSO活動の一環として、リサイクルパーク蔵王周辺のゴミ拾いを実施いたしました。車通りが多い場所だけに空き缶や空き瓶、コンビニの袋など多く、ものが捨てられていた。集めたものは工場内へ持ち込み分別回収。 ※弊ジェーエーシーでは、

宮城県大河原土木事務所長の認定を受け、「主要地方道 岩沼蔵王線」の清掃や除草活動を定期的に行っています。